

きずなの郷

第53号
2017 春

発行 社会福祉法人 厚生協会

平成29年5月1日

目 次

「地域と共に生きる」	1
平成29年度	
事業計画概要	2
冬のイベント	4
ボランティアさん、 ありがとう	5
わかふじ寮・ 屈足わかふじ園	6
ひまわり荘・やすらぎ荘	7
新得やすらぎ荘、 地域密着型新得やすらぎ荘 日帰りサービスセンター	8
人事異動・ 行事のお知らせ	9
ご寄付・ご寄贈 編集後記	10

「地域と共に生きる」

社会福祉法人 厚生協会 理事長 鈴木政輝

町民の皆様には、お元気にお過ごしのこととお喜び申し上げます。

日頃から当法人に対しましたご理解とご協力に感謝申し上げます。

この度も当法人の広報誌『きずな郷だより』をお手に取りご覧いただき誠にありがとうございます。

さて、平成28年度は皆様にとりまして様々な出来事がおりだつたのではなかでしようか。

『災害から身を』

まだ記憶に新しい台風による災害は昨年8月、町に大きな爪痕を残していきました。町民の皆様や当法人の福祉サービスをご利用されております皆様体験をされたと思います。

災害はいつ襲ってくるか分かりません。それだけに日頃から『いざ』という時に備えて避難方法等を心しております

『地域共生社会とは』

最近、よく耳にする「地域共生社会」とこの度も当法人の広報誌『きずな郷だより』をお手に取りご覧いただき誠にありがとうございます。この度も当法人の広報誌『きずな郷だより』をお手に取りご覧いただき誠にありがとうございます。

さて、平成28年度は皆様にとりまして様々な出来事がおりだつたのではなかでしようか。

『社会福祉法が改正』

福業界において、「憲法」とも言えます社会福祉法が4月から改正施行されます。「何をしているのか見えない」というご批判の声がこの度の法の大変悲しい限りです。

「人生100年時代」と言われ始めています今日、「出来る事なら住み慣れた地で在宅で」とのお考えは誰しも同じはずです。

その為にも、お互い助け合いの心で、ご本人、ご家族や地域町内会の皆様のご協力を欠く事が出来ません。加えて、私共福祉関係団体の連携と行政がそれぞの役割をしつかり果たしていく事が極めて重要なものであると思います。

今さら申し上げる事ではありませんが、地域でお困りの方を見つけ、手を差し伸べてあげる事が社会福祉法人本来の使命です。

当法人の人材・施設・設備という資源をフルに發揮し、お困りの方の身近な施設で一人ひとりに合ったサービスを提供し、「地域共生社会」をを目指していく事に役職員が一層力を入れています。

『町議会議員皆様と』

こうした中、2月10日総務厚生常任委員会の議員の皆様と町内福祉関係団体と活発な意見・情報交換がなされま

した。日頃の議員活動の中から得られた町民皆様の声や先進地視察での貴重な情報を教示頂きました。福祉関係者からはそれぞれのサービスの現状と悩み深い「人材確保と定着」をどう図つていくか話題が集中したところです。当法人としても、「人材確保」定住促進のため奨学資金制度を独自の事業として検討しております。

平成29年度 厚生協会法人本部及び各施設・事業所の事業計画概要

■ 法人部

公正かつ透明性の高い適正な経営を可能にする実行性のある組織体制を構築し、公益性の高い事業活動の推進と財務規律の確立を図る。

- ①社会福祉法改正に伴う各種移行作業の適正推進
- ②地域における公益的取り組み
- ③人材確保への取り組み

■ わかふじ寮・第2わかふじ寮・わかふじワークセンター

利用者の日常の過ごし方や作業活動の様子から利用者の身体及び精神状態の把握に努め、一人ひとりの状況に合わせた支援を行なうことができる様に努める。町内の高等支援学校の校外学習については、連絡調整を図りながら適切な協力を行っていく。

利用者の高齢化等の状況を踏まえ、今後の施設の方向性や平成30年度の報酬改定等を見据え、その適切な対応について万全な態勢を検討していく。

- ①利用者の重度化、高齢化に伴う支援の内容の見直し、その適切な対応を図る。
- ②高等支援学校との連携を図り、校外学習等の受け入れについて協力する。
- ③防災・防犯に対する備えや対応について検討し、その基本となる研修の場を設ける。

■ 共同生活援助事業所 さくらⅠ・Ⅱ・Ⅲ（グループホーム）

利用者のニーズを反映した喜ばれる献立作り、季節感のある家庭的な環境作りを行い豊かで楽しい生活が送られることを目指していく。

- ①地域生活に向けたプログラムに基づき、適切な支援を行っていく。
- ②個別の嗜好を把握し、季節感のある栄養バランスのとれた適切な食事を提供していく。

■ わかふじ寮相談支援事業所

利用者、家族などからの相談に応じて、障害のある方が住み慣れた地域において自立した日常生活並びに社会生活を送ることができるよう、相談支援を行っていく。

- ①利用者の生活状況を確認し、本人の状況や意向に沿ったサービス等の利用計画案を作成していく。
- ②サービスの実施状況を把握し、本人の意向に沿った利用計画となるよう適宜見直し等を行う。

■ 授産事業

利用者の高齢化により生産性の向上が頭打ちとなっている現状で、今後特に家具・建具の大口受注が見込めない状況について早急に多角的な視点で打開策を見いだしていく。

- ①部門別営業による売上の獲得
- ②各部門での作業内容の再確認及び人員配置の検討
- ③新規事業開拓の具現化。

■ 厚生協会新得白生舎

作業体制を見直すことにより生産性・品質等をより向上させ、顧客のニーズに合わせた営業展開を積極的に取り組んでいく。また顧客満足度の向上に向けた更なる質の高いサービスを目指していく。

- ①新得町等関係機関への働きかけ、並びに道立高等養護学校との連携強化、更にホームページを活用し新規利用者の確保に努める。
- ②現状の業務量を維持しながら顧客へのサービスの向上を図り、新たな顧客確保に向けた取り組みを展開していく。
- ③サービスセール等を定期的に実施し、喜んでいただける顧客満足度の向上を図る。

■ 屈足わかふじ園

法人の基本理念及び倫理要綱・行動規範に基づき、利用者の自立と人権の尊重を基本に利用者主体の支援を行っていく。

- ①報酬の減収や諸経費の値上げに対し、コスト意識の向上と経費節減を行う。
- ②サービス利用計画と個別支援計画の連携を図りサービスの向上に努める。
- ③口腔ケア体操を実施し、誤嚥防止・嚥下機能向上に努める。
- ④虐待及び抑制防止委員会によるモニタリングを定期的に開催し、合せて法の理解と職員の意識向上を図る。
- ⑤事故防止の意識向上に努め、対策の強化と徹底を図る。
- ⑥「駅弁の旅」の日を月1回設けて、変化のある食事の提供に努める。
- ⑦高齢化に伴い、誤嚥性肺炎や骨折などを予防するため、日常生活動作と食事形態の見直しなどを検討していく。

■ 屈足わかふじ園相談支援事業所

利用者、家族などからの相談に応じ、障害のある方が自立した日常生活並びに社会生活を送ることできるよう相談支援を行っていく。

- ①利用者が自立した生活が送れるように専門的な相談や助言等を行う。
- ②利用者の生活状況を確認し、本人の意向に沿ったサービス等利用計画案を作成する。

■ 聴覚障害者養護老人ホーム やすらぎ荘

各関係機関、事業所等と連携を図り、より効率的で質の高いサービスを提供する。

- ①新得町の手話条例施行に伴い、手話の普及と共に聴覚障害者養護老人ホームとしてその役割を強化し、道内外にアピールしていく。
- ②聴覚障害者の認知症ケアについて、関係者の理解がより深まるよう必要性を検証する。
- ③利用者の生活状況を観察し、聞き取り調査等で個々のコミュニケーション力を充分に把握する。

■ 特別養護老人ホーム 新得やすらぎ荘

利用者にとってより良い最高の介護サービスが提供できるよう業務改善や人材育成に力を入れていく。在宅関係の事業所と情報を共有しながら地域での困りごとの解決を図り、もって利用者の確保、経営努力に努めていく。

①基礎介護力向上に向けた施設内研修を継続する。

②利用者の尊厳を守り、食事、排泄の両面から自立に向けた支援を目指していくため、自立支援介護の研修会に参加し、介護力の向上に努めていく。

■ 地域密着型特別養護老人ホーム 新得やすらぎ荘

利用者にとってより良い最高の介護サービスが提供できるよう業務改善や人材育成に力を入れていく。在宅関係の事業所と情報を共有しながら地域での困りごとの解決を図り、もって利用者の確保、経営努力に努めていく。

①ユニットごとで1人1人の生活習慣や好みを尊重し、今までの暮らしが継続できるように少人数でのケアを行い利用者の要介護状態に応じた、適切なサービスを提供する。

②利用者とその家族との交流等の機会を積極的に設けていく。

■ 日帰りサービスセンター やすらぎ荘

昨年度より移行した介護予防・日常生活支援総合事業（軽度者に対する訪問介護及び通所介護）の対象利用者が混乱なくサービスを利用できるよう引き続き支援する。またマシントレーニングにより筋力低下を予防し、利用者が在宅で自立した日常生活を維持できるよう支援する。

①介護予防・日常生活支援総合事業への理解を深め、サービス内容の検討を進める。

②マシントレーニングを取り入れパワーリハビリテーションとしての機能訓練の内容充実を図り、筋力低下を防ぐことにより身体機能維持・生活機能向上に努める。

③サービスの内容について自己点検を実施しサービス内容充実に努める。

■ 日帰りサービスセンター やすらぎ荘たんぽぽ

住み慣れた地域環境で生きがいを持ちながら生活ができるよう、日常生活支援を行う。また家庭的な環境で穏やかに過ごすことで、精神的ストレスを少しでも軽減できるよう支援する。

①聴覚障害者とのコミュニケーションをスムーズに行うため、手話技術の向上を図る。

②地域密着型通所介護は町が定める運営基準等に沿ってサービス提供を行い、特性を生かした行事や新たに簡単な体操を取り入れることにより、利用者の参加意欲を高め利用率の向上を図る。

■ 清水デイサービスセンター やすらぎ荘

清水町の介護予防事業が今年度より介護予防・日常生活支援総合事業に移行することを踏まえ、サービス内容などを適宜見直し充実を図る。

①町の総合事業への移行に伴い、対象となる利用者が混乱なく利用できるよう支援する。

②平成30年度の介護保険法改正の動向を注視し、サービス内容などの対応を検討する。

■ 訪問介護事業所 新得やすらぎ荘

利用者の多様なニーズに合わせたサービス提供を行い、住み慣れた地域で安心して在宅生活が継続できるよう支援する。また、多種にわたる事業展開により、地域の福祉サービスの充実に寄与できるよう努力する。

①利用者の日常生活全般の状況及び希望を踏まえた訪問介護計画の作成を行い、関係者と協力しながら利用者の在宅生活継続を図る。

②職員会議等を利用して研修を行い、訪問介護員の資質向上を図る。

③在宅応援サービスをもっと利用しやすく工夫し、利用拡大を図る。

■ 居宅介護支援事業所 新得やすらぎ荘

可能な限り住み慣れた地域で生活が出来るよう、利用者の自立支援、状態の悪化防止を促進するために計画的、総合的な支援を継続していく。

①利用者自らの選択により、心身の状況や環境等に応じた適切な保健医療サービス及び福祉サービスが多様な事業者から総合的かつ効率的に受けられるよう支援する。

②事業にあたっては利用者の所在する市区町村、地域包括支援センター他の居宅介護支援事業者、介護保険施設との連携に努める。

■ 養護老人ホーム ひまわり荘

利用者サービスの質を維持・向上にむけて個別支援計画書を作成し、定期的にモニタリング（評価）を行い、適切なサービス提供に努めるとともに各種委員会で経費削減に取り組む。

利用者の主体性を尊重し、自立支援に向けた社会参加、地域との交流に取り組むとともに待機者とそのご家族に情報提供を行い、円滑な受け入れに努める。

①新規利用時及び状態に変化があった時にケース会議を開催し、個別支援計画をもとに、利用者一人ひとりに合わせた支援と介護サービスの提供を行う。

②各種委員会を定期的に開催し利用者へのサービス向上に努め、さらに委員会内で経費削減に向けて見直しを検討する。

③「ひまわり荘を知つていただく会」を開催し待機者やそのご家族及び入所を検討している方々に参加して頂き、円滑に受け入れが出来るよう努める。

■ 訪問介護事業所 ひまわり荘

特定施設利用者を対象としてサービス計画書を基に訪問介護サービス計画書を作成しサービス提供を行う。特定施設との連絡を密にし、利用者の生活能力の維持・向上につながるサービス提供に努める。



やすらぎ荘



クリスマスダンスパーティー
▲手を取り合って、ワン・ツー♪



クリスマス会
▲クリスマスソングを手話歌で

新得やすらぎ荘



新春ゲーム大会
▲開運神経衰弱は大吉を当てる方続出!



新春ゲーム大会
▲こっちも大吉! こいつも春から縁起がいいな。

地域密着型 新得やすらぎ荘



▶豆まきの準備を
しています



▶サンタの衣裳を着た
子供達に元気を貢いました

ちひっ子サンタ来荘

冬のイベント

各施設で冬ならではの
行事がありました。

ひまわり荘



クリスマスの集い

▲毎年恒例仮装での演奏
「今年は人間ツリーが」



節分

▲「施設長と年女」



節分

▲「鬼」にめがけて、豆を「鬼は外ー」

わかふじ寮



餅つき

▲若手も頑張ります。よいしょ!



餅つき

▲黙々と

屈足わかふじ園



クリスマス会

▲サンタさんたくさんありがとう!!



クリスマス会

▲豪華会食メニュー! 美味しい!!



餅つき

▲よいしょっ——!!



ボランティアさん、ありがとうございます

各施設へ奉仕活動をなさっている方々がおり、利用者・職員一同共に嬉しく感じております。毎度変わらぬご厚意を賜り、感謝の意を込めてお世話になっている方々のご紹介を致します。

○カトレア会



▲清拭布の裁断や裁縫等

○新得歌謡愛唱会



▲利用者とカラオケ交流

○微助つ人の会



▲縫い物や衣類の補正等



▲利用者へ童話の読み聞かせ

○北海道 ボランティアドッグの会



▲セラピー犬とのふれあい

○天理教北新得分教会



▲自動ドアやベランダ等のガラス拭き

○COTTON散髪ボランティア



▲利用者の散髪

○新得町役場OB



▲窓拭きや清拭の裁断等

○井上玲子様



▲踊りの指導

○高橋いつ子様



▲七宝の技法を指導

○千葉月世様



▲お茶の作法を指導

雪像づくり ～ベイマックス～

2月4日にわかふじ寮の中庭にて雪像づくりが行われました。防寒対策をしっかり行った利用者十数名が2メートル程の雪山を前に試行錯誤、全体を見ながらスコップで削る者、雪を丸める者、除雪する者、それぞれの役割を額に汗しながら、協力して行った結果、雪祭り顔負けの「ベイマックス」が完成しました。

頑張って作った雪像は夕方アイスキャンドルでライトアップされ、食堂から皆さんの目を楽しませてくれました。



▲どんどん削っていきますよ！



▲最後はみんなで記念撮影！

救命講習

～慌てないで的確に～

12月2日に新得消防署の署員2名にお越し頂き、救命講習とAEDの使用講習を行いました。

始めに、心肺蘇生の重要性などの講義や人工呼吸からAED使用に至るまでの一連の流れを学び、その後、署員によるデモンストレーションを確認し、実技指導を受けました。

人工呼吸やAEDの手順などで四苦八苦する場面もありましたが、署員からの助言を受け、他の職員とも確認しながら行いました。

今後、もし心肺蘇生をしなければならない場面に直面した際、今回学んだ内容を実行していきたいと思います。



▲緊張感をもって実技指導を受けました。



▲AEDの使用方法も、改めてここで再確認!!

藤川元理事長33回忌法要 ～共に歩んで～

1月7日にわかふじ寮地域交流ホーム「ふじ」にて、藤川元理事長の33回忌法要が行われました。

現在のわかふじ寮がこうしてあるのも、昭和28年に藤川元理事長と田中皎一元理事長が、聴覚障害者の社会的自立と職業訓練の為に北海道身体障害者授産所を創設しました。寝食を共にしながら数々の苦難を乗り越えられ、希望と生きがいに道筋をつけて頂き、現在の厚生協会の礎を築かれた事に対し、藤川元理事長をはじめとする諸先輩のご苦労に感謝し思いを馳せながら皆で手を合わせました。



▲住職からの説教

十勝ウインドシンフォニー演奏会

～素敵な音色に感激!～

11月12日に屈足わかふじ園家族会との共催で、今回で9回目となる十勝ウインドシンフォニー演奏会を行ないました。十勝ウインドシンフォニーは、主に帯広市内で活動されている吹奏楽団で、メンバーは社会人で構成され、今回は24名のメンバーにお越し頂きました。

演奏会では、THE SQUAREの『宝島』から始まり、『銀河鉄道999』や『世界名作アニメドレー』など、馴染みのある懐かしい曲から最近のヒット曲など、利用者の世代に合わせたメドレーを含む7曲を披露して頂きました。また曲間には、楽器紹介コーナーを設けて下さり、素敵な音色に感激しました。

中でも盛り上がったのは、劇団四季のライオンキングから『愛を感じて』の演奏中に、ライオンのたてがみを付けたトラのぬいぐるみが登場した場面です。ライオンのぬいぐるみを用意できず、ライオンキングならぬトラキングになってしましましたが、利用者にも喜んでいただき、大変盛り上りました。

1時間ほどの演奏会でしたが、利用者・職員共々拍手が絶えず、あっという間に時間が過ぎた演奏会でした。



▲今年もお越し頂き、ありがとうございます。



▲トラキング登場?!

十勝川温泉一泊旅行

～観劇に感激! 温泉と宴会を満喫～

11月27、28日に利用者14名と職員4名で、十勝川温泉笹井ホテルへ一泊旅行に行きました。その様子を利用者さんの声を中心に報告します。

観劇は日本舞踊と人情劇で舞踊では客席に降りて踊る役者さんの姿に目を奪われていました。また笑いあり涙ありの人情劇では「やっぱり生で見る劇はおもしろいね」と話されていました。

温泉も好評で「温泉に入ると身体の調子が良いわ」と次の日も朝風呂にも入りに行く方もいました。

夕食の宴会ではお刺身、十勝牛のステーキ、寄せ鍋などの料理を食べながらカラオケを行いました。思わず踊り出してしまう方や普段は歌わない方も「歌ってみるか」と歌声を披露してくれました。

翌日、帰りの車内では「来年もまた行きたいね」等と多数の声が聞かれました。



▲素敵な歌に踊らすには
いらっしゃません♪



▲役者さんと記念写真！

手作りケーキでコーヒータイム

～新しい試みに挑戦しました～

2月14日に男女問わず料理好きの方々が集まって、たこ焼き機を使った丸いホットケーキ作りを行ないました。生地作りから焼き上げるところまで、すべて利用者の方々にやっていただきました。竹串を手に、皆さんとても積極的に生地をクルクルと返していました。

例年であれば、作った物は昼食などに併せて提供し、食べて頂いて終了ですが、今年はこの「お料理日」に「お茶会」を合同行事として開催し、喫茶店の雰囲気の中で、入れたての珈琲や紅茶と一緒に召し上がって頂きました。

自分達で作った物を仲の良い友人達と談笑しながら食べている利用者さん達の表情は、職員にとって、チョコレートを貰う以上に嬉しい贈り物でした。



▲もう焼けたかな?



▲でき栄え最高デスねえ☆☆☆☆

正月遊び

～遊びに夢中!!～

1月4日、百人一首、福笑い、ほうびき、すごろく等の正月遊びを行いました。

百人一首では、読み手の声に耳を傾け、札取りに集中されていました。

福笑いでは、目や鼻の位置が顔の下になってしまい、ご当人は「あらーこんな顔になっちゃった」と笑顔で話されていました。



▲ほうびき「当たりはだーれだ!?」

ほうびきは当たりを引くと「やったー」等と歓声があがり、すごろくでは良い数が出ると「たくさん進めるな」と遊びに夢中になられていました。



▲すごろく「良い数出たかい?」

手話の歌を上手に披露してくれました

～歌って♪踊って☆元気いっぱいの園児達～

昨年の11月30日に新得幼稚園との交流会が行われ、たくさんの園児達が元気に遊戯を披露している姿を見て顔がほころびる人が大勢いました。

今回の演目には10月中旬に新得幼稚園へ少しでもお役に立てればと贈らせて頂いた「手話の歌・また会える日まで」を披露してくださり、一緒に手話を用いながら「聞いて」楽しむ方「見て」楽しむ方は各々でした。

最後に園児達が利用者一人一人へ握手を交わして「元気でね」「楽しかったよ」等と声を掛けて貰いながらお別れをしました。



▲園児達とお別れの握手

9月の交流会は台風の災害で中止となってしまいましたが、11月に開催する事ができたので楽しく充実した時間を過ごす事ができました。



▲園児達が総勢で
手話の歌を披露♪

安心安全な介護をめざして ～技術研修会、やってます～

やすらぎ荘全体で月に一回程度、博愛会（帯広）の理学療法士和田永年先生と小川健太郎先生を講師にお迎えし、技術研修会を開催しています。毎回テーマに沿った講義の他、グループに分かれ、実際に使用している物と同じベッドや車椅子を会場に持ち込んで課題に取り組みます。

当初は利用者が安全でかつ介助者にも負担の少ない移乗方法など基本的な事を教えて頂きましたが、回を重ねるにつれて実際の利用者を想定して毎日の生活の中で何が必要か何ができるかという「日常のリハビリ」につながる介護を考える場にもなっています。そして講習会の後には、参加できなかった職員にも内容を伝え学んだことを基にした介護を実践するようにしています。

少しずつですが学びを重ねることで利用者の皆さんにより安心安全な生活を提供できるよう努力していきたいと考えています。



▲「ベッドの高さは車椅子より少し高い位が移乗しやすいよね」



▲メモを取りながら真剣にお話をうかがいます

地域密着型
新得やすらぎ荘

新春ゲーム大会

～笑う門には福来たる～

昨年4月に地域密着が開設してから初めての新年を迎え、1月3日に新春ゲーム大会を行いました。つくし・ふくじゅそうの2チームに分かれ、箱の中身を見ずに触って何かを当てる「箱の中は何だろな？」と、

「福笑い」を行いました。「箱の中は何だろな？」では、多くの方が中身を当てることが出来ていて、当てた時の表情がとても嬉しそうでした。中には箱の中身を取り出している方もいましたが…。「福笑い」は、チームの一人ひとりが目や鼻などのパーツを持ち、みんなでアドバイスし合いながら協力して顔に仕上げていました。新年の初笑いをたくさん見ることが出来た1日でした。



▲真剣に並べています！



▲温かい笑いを生みました！

新得やすらぎ荘

ミニギャラリー開催中

～パステルと水彩の優しい空間～

新得やすらぎ荘の廊下の一角に、十数枚の絵が飾られています。描いたのは新得やすらぎ荘でショートステイを利用している菱沼サツ子さん。上手な方の作品を見たのがきっかけで、自分もそんな絵を描いてみたいとお友達と一緒にサークルを作り、独学で描き始めたそうですが、花や少女を描いたパステル画や水彩画の数々は優しい色合いで見る者を癒してくれるものばかりです。「今は目が悪くなって全然描けない」と話されながら「たくさんあったんだけど人にあげてしまってあまり残っていない。でもこのランの絵はけっこう気に入っているのよ」「パステルは指でのばすのだけど、この白い部分を残すのが難しくて、なかなか思うようには描けないものよ」と絵の前でお話を聞かせてくださいました。絵の他にも習字や編み物など多趣味な菱沼さん、これからもお元気で充実した毎日をお過ごしください。



▲作品と一緒に一緒に。右上のランの絵がお気に入りだとのことです。

バイオリンコンサート開催

～音色に感動しました～

平成28年12月10日、やすらぎ荘の食堂でバイオリンコンサートが開かれました。今回のコンサートは町内在住の塙邦子氏の他、バイオリン奏者2名（井上京子氏、坂井貴志子氏）、ピアノ奏者1名（砂原真由美氏）にご協力いただき開催することができました。

演奏曲は、「きよしこの夜」や「ひいらぎ飾ろう」など12月らしい曲から、「荒城の月」や「ふるさと」といった懐かしい曲まで、全11曲を披露していただきました。「雪の降る街を」では、日帰りサービスセンターやすらぎ荘に通所されている、塙氏のお父様である佐々木忠利氏にご壇上いただき、歌と演奏による親子共演が果たされました。力強い歌声と切なくも暖かいバイオリンの音色はとても素敵でした。

利用者の皆さんからは「バイオリンの音色を生で聴いたのは初めて」「すごく感動したよ」と大変好評をいただきました。



▲素敵な衣裳で会場の雰囲気は更に盛り上りました(塙氏)。



▲生演奏による歌唱は大変迫力がありました。

ご寄付・ご寄贈ありがとうございました

平成28年11月から
平成29年2月まで(敬称略)

【本
新得町

部】
有ばば天光堂薬局
國枝 正博
中村 幸一
村瀬 洋子
竹迫タツエ
佐々木忠利
山本 洋
坂本 茂光
堂端 紀男
高橋助三郎
計良 基治
横倉 良夫
中野 慶晴子
木村ス工
古岡 晃子
青山 容子
田仲 昭
菅原 元明
水本 泰弘
伊藤 昭宣
加藤 泰行
山野辺 篤勝
鈴木 義勝
菅原 哲二
吉田 國男
平田 敬一
吉川 照一
鈴木 義男

清水町
鹿追町
標茶町
中富良野町
和寒町
別海町
小樽市
稚内市
釧路市
旭川市
札幌市
東京都

【わかふじ寮】

新得町
道東エコ・ウォーターハウスSS
新得手話の会
岡田セツ子
十勝地区身体障害者福祉協会新
得町分会
小田天光堂
遠藤美容室
株田村工業

マキ鉄工製作所
新得町農業協同組合
畜産試験場
ひろせ
みうら
高橋興業(有)
とびなが薬局
ちいさな手
新得町・新得町議会
新得町社会福祉協議会
新進町内会
岡本昌子
勇昇印刷(有)
株田村義肢製作所
㈱東サッジセンター
北海道ツアーシステム㈱
株反町
ソフトン
芽室町
標茶町
池田町
新ひだか町
泊村
旭川市
小樽市
札幌市
東京都羽村市
静岡県伊東市

音更町
鹿追町
清水町
音更町
清水町
音更町
芽室町
土幌町
幕別町
広尾町
釧路市
北見市
赤平市
北広島市
札幌市
旭川市
東京都

【ひまわり荘】
新得町
太田 町子
館内 弘美
届足手話の会
小田天光堂
平和園
わたなべ歯科

(有)沢井商店
上田精肉店
小笠キク子
松田商店
太田便利屋
有高砂屋
玉川 悅子
札幌福祉医療器株
㈱田村義肢製作所
保苅 敬一
片山 寛
福田 栄
栗栖 明吉
梅田 盛
大倉 弘志
中島 しみず
松浦 尚子
高橋 とよ子
佐々木 富士雄
村上 幸二
林 幸子
川畑 幸夫
㈱光生舎

音更町
鹿追町
清水町
音更町
芽室町
土幌町
幕別町
広尾町
釧路市
北見市
赤平市
北広島市
札幌市
旭川市
東京都

【新得やすらぎ荘】
新得町
小松 健次
小川 幸道
大崎 道春
爪 数雄
山田 文雄
小野 恭子
草刈 綾子
岡田 博文
月井 シゲ子
望木 晃
鈴木 美恵子
古川 一郎
小笠さち子
小笠多美子

高橋 正廣
大屋 美恵子
石丸 和子
池ノ谷照男
山口 敏子
渡辺加子
細野 博昭
守田 辰治
藤井由美子
匂坂 芳隆
本寺 美恵子
松井 栄子
斎藤 裕子
小野 富喜子
原 光治
小山 忠典
青木 大百合
小黒 正広
梅垣 幸子
日清医療食品株式会社
小黒 長春
鈴木 義男

音更町
鹿追町
清水町
音更町
芽室町
土幌町
幕別町
広尾町
釧路市
北見市
赤平市
北広島市
札幌市
旭川市
東京都

【やすらぎ荘】
芽室町
札幌市
札幌市
谷保 健次
吉川 幸道
澤谷 照一
貞貞

ばば天光堂薬局
狩勝振興
おしゃれの店ひろせ
とびなが薬局
暖笑
キングラン北海道株式会社
日清医療食品株式会社
アムス
合田 勝弘
佐藤 多美子
渡部由美子
山村 茂子
村中善一郎
金山 アイ子
元治 光治
元明 元明
ラヨ二哲
久俊 久俊
隆男 幸男
幸男 工藤紀子

帯広市
清水町
芽室町
音更町
池田町
士幌町
広尾町
標茶町
釧路市
深川市
千歳市
札幌市
栃木県宇都宮市

【地域密着型新得やすらぎ荘】
新得町
松本 和彦
西浦 寛子
小松 恵津子
岩倉 弘行
平 佐藤

社会福祉法人厚生協会では、法人各施設の様子や情報をホームページやブログで公開しています。ご意見やご希望についても電話・Eメールで受け付けています。

厚生協会ホームページ

<http://www.wakafuji.or.jp>

ブログ「わかふじ寮歳時記」

<http://biog.canpan.info/wakafuji>

ブログ「やすらぎ荘ブログ」

<http://blog.canpan.info/yasuragi-so/>

ブログ「届足わかふじ園日記」

<http://blog.canpan.info/wakafujienn/>

ブログ「ひまわり荘Diary」

<http://blog.canpan.info/48-himawari/>

厚生協会E-mailアドレス

wakafuji@netbeet.ne.jp (わかふじ寮)
yasuragi@rainbow.ne.jp (やすらぎ荘)
wakafuji@rose.ocn.ne.jp (届足わかふじ園)
himawari@bb.rainbow.ne.jp (ひまわり荘)
ssh5209@kha.ku.plala.or.jp (厚生協会新得白生舎)

この広報誌の中で使用させていただいている利用者の顔写真等は、すべてご本人の了承をいただき、掲載しています。

編集後記

少しずつ夜明けが早くなり、段々と気温も暖かくなってきて春の訪れを感じさせます。

今回の号では冬の行事や、ボランティアの皆さんの活躍などを載せています。寒い季節にぴったりの心が温まるような内容の記事になっています。読んで楽しんでいただければ幸いです。

今年も新たな職員を迎える、更なるサービスの向上に努めさせていきたいと思っております。皆さま季節の変わり目に体調を崩されないよう御自愛ください。



「パン工房わかふじ
からのお知らせ」

わかふじでは、十勝産の小麦「キタノカオリ」を使用したパンを約40種類焼いています。
今回は、当店のオススメなパンをご紹介します!!

〈5月新商品〉

◇チーズクリームブリオッシュ 151円(税込)

・ふんわりしたブリオッシュ生地に、甘酸っぱいチーズクリームを絞り焼き上げました。チーズがあ好きな方にオススメです。



〈オススメパン〉

◇クリームブリオッシュ 173円(税込)

・ふんわりしたブリオッシュ生地に、サクサクのクッキー生地をトッピングしています。十勝産牛乳を使用した口溶けの良いカスタードクリームをたっぷり包み込みました。女性にオススメです。



その他、日替わりパン(カップシフォン(木曜日)・ハード系チーズの日(金・土曜日)や食パン(ホテルブレッド、シルキーブレッド)・ハード系(パケット、ノア・レザン)等も人気です。

※パンの注文承っております。お気軽に店員に声を掛けてください。

〈営業時間〉 10:00~18:00

〈定休日〉 住所: 北海道上川郡新得町西3条南1丁目
日・月曜日・祝祭日 電話: 0156-64-5133 担当: 加藤・小針